

# 平成27年度 日本鋼管病院 病院指標

医療法における病院等の広告規制について(厚生労働省)

- I. 年齢階級別退院患者数
- II. 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)
- III. 初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数
- IV. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- V. 脳梗塞のICD10別患者数等
- VI. 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者上位3位まで)
- VII. その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

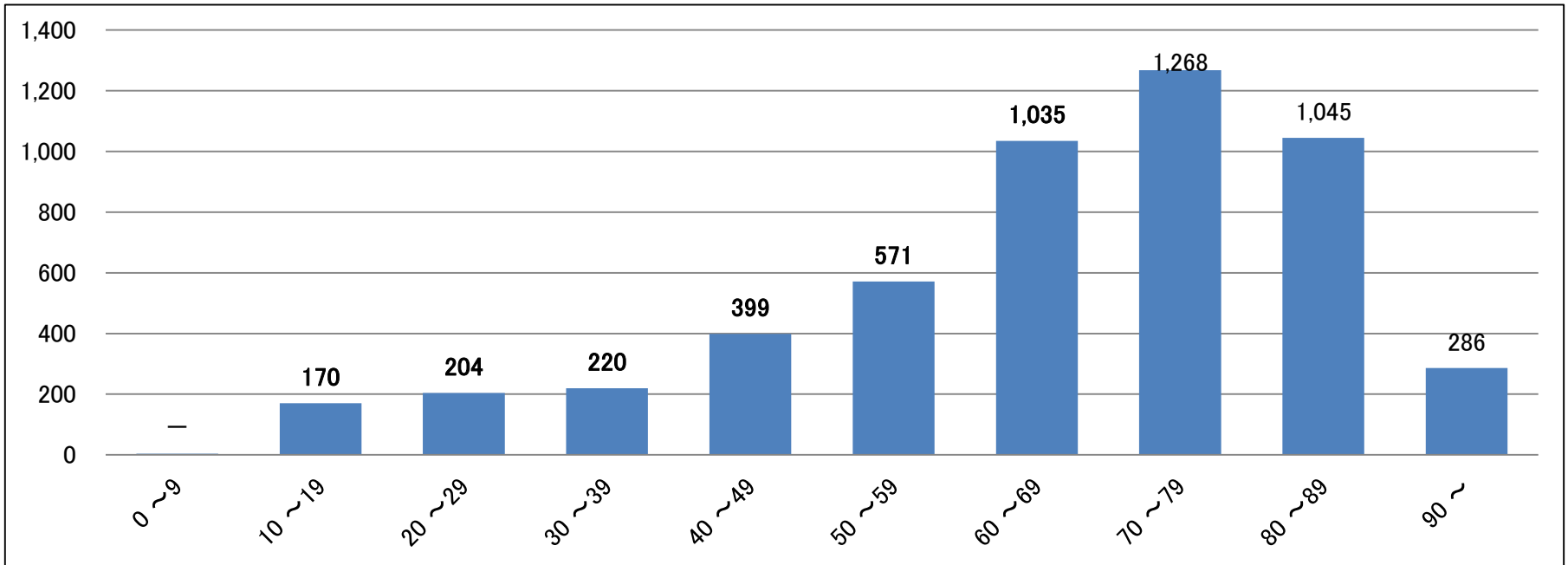
## 【集計方法と定義】

平成27年度におけるDPC対象患者様を対象に集計を行っております。また、10人未満の項目は実数ではなく“－”で表記しております。



# I. 年齢階級別退院患者数

年齢区分 (歳)	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～
	-	170	204	220	399	571	1,035	1,268	1,045	286



## 【解説】

平成27年度の全退院患者数は、5,000人を超えており、うち70～79歳の方がもっと多く、全体の24%を占めております。



## II. 診療科別症例数TOP3

### ◆内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	転院患者数
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)手術なし 手術・処置等2なし	174	17.22	14.34	2.87	74.80	5
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2なし	160	5.14	4.87	2.50	70.33	4
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	134	30.39	21.69	20.15	86.57	27

#### 【解説】

◆高齢化の進む中、当院も例外ではなく高齢者における肺炎等の呼吸器疾患、狭心症などによる循環器疾患の入院が多くみられ、積極的な治療を行っております。



## II. 診療科別症例数TOP3

### ◆整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	転院患者数
160620xx01xxxx	肘、膝の外傷(スポーツ障害等を含む。) 腱縫合術等	157	16.12	11.98	0.00	28.82	0
070350xx01xxxx	椎間板変性、ヘルニア 内視鏡下椎間板摘出(切除)術	156	7.09	11.84	0.00	49.28	0
070343xx01x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処置等2なし	78	24.67	23.32	0.00	67.33	0

#### 【解説】

◆ スポーツ整形センターのACL(膝前十字靭帯)再建術、脊椎センターのPED(経皮的内視鏡下椎間板摘出術)が上位を占めております。



## II. 診療科別症例数TOP3

### ◆外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	転院患者数
060035xx99x50x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等25あり 副傷病なし	27	2.96	4.53	0.00	64.33	0
060335xx0200xx	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術 等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	17	8.59	7.84	0.00	58.29	0
060150xx03xx0x	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わ ないもの等 副傷病なし	16	5.19	5.56	0.00	40.00	0

#### 【解説】

◆消化器疾患が最も多く、その中でも結腸の悪性腫瘍が多く占めております。



## II. 診療科別症例数TOP3

### ◆眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数(自院)	平均在院 日数(全国)	転院率	平均年齢	転院 患者数
020250xx97xxxx	結膜の障害 手術あり	23	2.00	4.53	0.00	75.04	0
180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	—	2.00	6.84	0.00	72.50	0

#### 【解説】

◆ 当院で最も多い症例は白内障ですが、DPC対象外のため次いで結膜弛緩症が上位を占めております。

## II. 診療科別症例数TOP3

### ◆耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	転院患者数
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	77	7.09	5.53	0.00	34.58	0
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	39	5.97	5.31	0.00	60.36	0
030428xxxxxxxx	突発性難聴	18	9.50	9.60	0.00	50.44	0

#### 【解説】

◆扁桃領域の炎症疾患が最も多く、次いで眩暈症や難聴が上位を占めております。



## II. 診療科別症例数TOP3

### ◆皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	転院患者数
080011xx99xxxx	急性膿皮症 手術なし	33	12.61	11.97	0.00	64.33	0
080020xxxxxxxxxx	帯状疱疹	15	9.47	8.97	0.00	70.13	0
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2なし	-	14.83	10.49	0.00	75.50	0

#### 【解説】

◆膿皮症が最も多く、次いで帯状疱疹が上位を占めております。





## II. 診療科別症例数TOP3

### ◆泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	転院患者数
110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	25	8.80	7.59	0.00	75.72	0
110200xx04xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的レーザー前立腺切除術	23	7.52	7.90	0.00	73.26	0
11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	18	4.11	5.91	0.00	54.67	0

#### 【解説】

◆当院では、膀胱腫瘍に対しTUR-BT(経尿道的膀胱腫瘍切除術)と前立腺肥大に対するHoLEP(ホルミウムレーザー前立腺核出術)が最も多く上位を占めております。



### III. 初発の5大がんのUICC病期分類別再発患者数

5大癌	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	再発
胃癌	29	-	10	30	38	15
大腸癌	-	-	18	37	16	32
乳癌	-	-	-	-	-	-
肺癌	-	-	20	51	43	29
肝癌	-	-	-	10	11	35

※ 不明件数には、初発か再発か不明の件数・判断不可件数も含まれます。

※ 退院時病理結果等が明らかでないものも不明件数に含まれます。

#### 【解説】

◆ 当院では、「消化器肝臓病センター」・「COPD・SASセンター」を有し、5大がんに対し積極的な治療を行っております。



# IV. 成人市中肺炎の重症度別患者数

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
重症度0	23	7.57	52.09
重症度1	42	15.50	79.88
重症度2	35	24.66	80.14
重症度3	15	31.20	83.67
重症度4	-	80.00	86.00
重症度5	-	-	-
不明	-	18.17	71.33

## 【解説】

◆重症度1～2による患者さんが多く、年齢が高齢になるほど重症になっており、在院日数も長期化しております。



# V. 脳梗塞のICD10別患者数

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	-	67.33	79.00	-
		その他	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	50	33.98	76.52	20.34
		その他	9	19.67	75.11	3.39
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	9.00	97.00	-

## 【解説】

- ◆脳梗塞は、国際疾病分類として上記疾患に区別されます。
- ◆発症後3日以内に入院する患者が多くを占め、全体の約8割となっております。



## VI. 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数TOP3

### ◆内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	転院患者数
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル未満)	220	1.08	2.24	0.45	65.01	—
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	156	2.78	6.01	2.56	70.84	4
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	38	1.24	6.16	0.00	68.08	0

#### 【解説】

◆内視鏡による結腸ポリープ切除術が多く、次いで、経皮的冠動脈ステント留置術を多く実施しております。



## VI. 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数TOP3

### ◆整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	転院患者数
K134-22	内視鏡下椎間板摘出(切除)術(後方摘出術)	157	2.69	3.69	0.00	49.24	0
K079-21	関節鏡下靭帯断裂形成手術(十字靭帯)	118	1.11	18.03	0.00	26.14	0
K0483	骨内異物(挿入物)除去術(下腿)	87	1.03	1.67	0.00	35.64	0

#### 【解説】

◆経皮的内視鏡下椎間板摘出術が最も多く、次いで、関節鏡下靭帯断裂形成手術が上位を占めております。



## VI. 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数TOP3

### ◆外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	転院患者数
K6335	ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	36	1.56	4.08	0.00	65.61	0
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	30	4.20	4.00	0.00	61.00	0
K6113	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入埋込カテーテルアクセス設置(他)	28	3.54	10.07	3.57	67.50	-

#### 【解説】

◆鼠径ヘルニアによる手術が多く、次いで、腹腔鏡下胆嚢摘出術が多くなっております。



## VI. 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数TOP3

### ◆眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	転院患者数
K28210	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)	94	0.00	1.00	0.00	77.18	0
K2231	結膜嚢形成手術(部分形成)	19	0.00	1.00	0.00	76.26	0
K224	翼状片手術(弁の移植を要するもの)	-	0.00	1.00	0.00	69.25	0

#### 【解説】

◆当院では、水晶体再建術が最も多く、1泊2日で行っております。





## VI. 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数TOP3

### ◆耳鼻科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	転院患者数
K3772	口蓋扁桃手術(摘出)	12	1.17	8.92	0.00	34.67	0
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	-	0.63	7.13	0.00	38.50	0
K3932	喉頭腫瘍摘出術(直達鏡)	-	2.00	5.00	0.00	62.67	0

#### 【解説】

◆慢性扁桃炎の治療のために行う口蓋扁桃摘出術が最も多く占めております。



## VI. 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数TOP3

### ◆皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	転院患者数
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	11	0.45	11.45	0.00	78.91	0
K0021	デブリードマン(100cm <sup>2</sup> 未満)	-	4.00	51.75	0.00	76.25	0
K0062	皮下腫瘍摘出術(長径3cm以上6cm未満)	-	0.00	5.00	0.00	71.00	0

#### 【解説】

◆皮膚科では、皮膚の悪性・良性の腫瘍手術が多く占めております。



## VI. 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数TOP3

### ◆泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	転院患者数
K80364	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術・電解質溶液利用)	33	1.82	5.36	0.00	73.61	0
K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除術(ホルミウムレーザー)	22	1.45	5.00	0.00	73.55	0
K7811	経尿道的尿路結石除去術(レーザーによるもの)	17	0.71	1.47	0.00	51.88	0

#### 【解説】

◆膀胱悪性腫瘍手術が最も多く、次いで経尿道的レーザー前立腺切除術(ホルミウムレーザー)ですが、尿路結石症の手術にも力を入れております。



# VII. その他(DICの請求率)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率(%)
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	0.04
		異なる	21	0.40
180010	敗血症(1才以上)	同一	10	0.19
		異なる	12	0.23
180035	その他の真菌症	同一	0	0.00
		異なる	-	0.02
180040	手術・処置等の合併症	同一	17	0.33
		異なる	-	0.10

## 【解説】

- ◆入院待機となった主病名と異なり、入院した後に免疫力の低下等で全身状態が悪化しDIC(播種性血管内凝固症候群)や敗血症等の重篤な状態に陥ってしまったものです。
- ◆手術・処置等の合併症については、ほぼ入院待機となった主病名と同一となっております。



---

## 【更新履歴】

2016/09/28

機能評価係数2の保険診療指数における「病院情報」を公開しました。

2016/09/30

解説欄を一部修正しました。

2016/10/03

患者数が10人に満たないものを“－”に標記変更しました。

